

<2月の全校集会>

ロサンジェルスドジャーズの大谷選手から、本校にもメッセージとともにグローブが届きました。2月5日(月)の全校集会(オンライン)で開封すると、各教室の歓声が校長室まで響いてきました。6年生の野球大好きな3人に、代表でキャッチボールをしてもらいました。その後の感想を発表してもらおうと「大谷選手への感謝・憧れ」「これからの目標や夢」などの言葉が聞かれました。



その後、大谷選手が高校生の時に立てた目標の話をしました。一流の選手になるためには、人間力を高めることが大切で、その一つとして「ゴミ拾い」を決めたエピソードです。加えて、「人が捨てた運を拾っている。」「善い行いをすればよい結果が、悪い行いをすれば悪い結果になる。」と言う大谷選手の生き方を紹介しました。

大谷選手はメジャーリーグの選手の中でも誰もが認める超一流選手です。それでも、高校時代に立てた目標の「ゴミ拾い」を続けていることに凄みを感じざるを得ません。菅っ子の目標に「応援する子・応援される子」があります。まさに、大谷選手は人間力を高めることで、世界中の人から「応援される人」になったのだと思います。そして、グローブをプレゼントして、日本中の小学生を応援してくれています。

お 怒の思いやり算 できていますか?

- + たすけ合う 力を合わせる
- ひきうける
- × 声(魔法の言葉)をかける
- ÷ わけ合う

怒の思いやり算を行動にできることが成長です

「すべての悩みは、対人関係の悩みである。」アドラー心理学の根底に流れる概念です。もし、対人関係がまったく無くなれば、すべての悩みは無くなるのかもしれませんが、そのような状況はありえません。人は社会的脳を持ち、人と協働すること、仲間との絆を強くすることで生き延びてきた歴史的事実や、関わることで幸せを感じる生き物だからです。そして、子供たちは、日々の活動で、

人間関係を学んでいる途中にいます。学年のまとめの視点として「怒の思いやり算」を紹介しました。6年生は、中学校への旅立ちを意識し、1~5年生は新学年への準備が始まります。学習のまとめに加えて、ご家庭でも、心の成長について話題にしてみてください。人間力の成長を確認することが自己肯定感を高めることにつながると考えます。

<授業参観・学年末保護者会の中止について>

報道等でも連日取り上げられていますが、本校においても、2月に入り、インフルエンザA型に加えB型の流行が始まっています。学級閉鎖の学級や閉鎖まではいかないまでもそれに近い流行状況の学級も多数あります。このような状況を鑑み、16日(金)に予定しておりました授業参観、年度末保護者会は中止といたします。感染拡大防止のため苦渋の選択であることをご理解いただきたく存じます。なお、保護者会の資料につきましては、お子様を通じて紙で配付いたします。